

# 一般財団法人 航空保安施設信頼性センター 常勤役員選定理由

## 1. 選考過程

一般財団法人航空保安施設信頼性センターは、常勤役員の選定にあたり透明性を確保する観点から、国家公務員の出身者を除く委員で構成される常勤役員選考委員会を令和6年6月18日に開催し、常勤役員としての理事候補者を選考した。その後開催された評議員会において理事に選任され、更に、同日、引き続き開催された理事会において、理事長、専務理事及び常務理事の選定が行われた。

## 2. 常勤役員の選考理由

一般財団法人航空保安施設信頼性センターは、航空保安施設の保守点検及び補用部品の在庫管理等の事業を行い、航空保安施設の円滑な運用に貢献し、航空交通の安全性の向上に寄与することを目的としている。

そのため、当財団の常勤役員には、航空保安施設に関する専門的な知識や経験に加え、航空交通施策等に関する幅広い知見並びに行政機関、民間関係機関等との交渉・調整能力が求められる。

また、組織を合理的かつ機能的に運営するための人事管理、財務管理の知見や経験も不可欠であり、しかるべき資質を求められる。

なお、個々の役員の選考理由は以下のとおりである。

理 事 長   ：   加藤    敏    （重任）

当財団の理事長は、代表理事として、組織運営、人事管理、予算管理等に係る高度な統率力並びに航空保安施設に係る航空交通施策等に広い知見を有する事が必要とされる。

当該者は、理事長として当財団の組織を統率し、航空保安施設に関する豊かな知識・経験を生かし、当財団の業務運営並びに予算管理等に関し指揮監督してきたことから、理事長として当財団の業務運営、経営全般に多大な貢献が期待できる。

専務理事　：　伊藤　聡司（重任）

当財団の専務理事は、業務執行責任者として、業務運営はもとより、人事管理及び予算管理等に関して、高度な判断力、調整能力、組織統率能力を必要とされる。

当該者は、専務理事として当財団の業務執行に豊富な経験を有し、理事長を補佐する枢要な職にあつて組織を統率し、関係機関との交渉・調整に多大な能力を発揮するとともに、航空保安施設に関する豊かな知識・経験を生かし、業務運営に多大な貢献を果たしてきたことから、専務理事として当財団の運営管理、業務執行等に貢献することが期待できる。

常務理事　：　宮藤　三雄（重任）

当財団の常務理事は、業務執行責任者として、人事・労務管理、予算管理等に関する具体的な業務の執行を指揮することから、業務全般に亘る知見を有し、調整力と統率力等が求められる。

当該者は、常務理事として当財団の業務執行に豊富な経験を有し、理事長及び専務理事を補佐する立場で財務管理を中心として業務展開や人事・労務等に関与して業務執行を指揮監督してきたことから、常務理事として当財団の運営管理、業務執行等に貢献することが期待できる。